

自転車で公道を走る時は交通法規を守りましょう!



公益財団法人 日本自転車競技連盟広報誌



www.jcf.or.jp

シクリスムエコー No.200
2013年4・5月号



全日本トライアル 20 インチ チャンピオン寺井



平成24年度全国高等学校選抜自転車競技大会	2
平成25年度 事業計画	4
収支予算書総括表	7
「公益財団法人 日本自転車競技連盟」設立のご報告	8
アジア選手権2冠の原井博斗に聞く	8
全日本選手権大会のご案内	8
第2回全日本選手権トライアル in 新城	9
JCF維持会員のお願い	10
広報誌「シクリスムエコー」定期購読のご案内	10
事務局変更のお知らせ/今後の大会予定	10
各国際大会日本選手団	11
競技大会結果	12
連盟の動き	15
全日本選手権トライアルphoto	16



日本が生んだ世界のスポーツ

KEIRIN



この広報誌は、
競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

平成 24 年度全国高等学校選抜自転車競技大会

男子は和歌山北高校が総合優勝!

男子ケイリン決勝。黒キャップが優勝の築田



女子 500mTT 優勝の鈴木

男子 3km 個人パーシュート優勝の森口



男子スプリント決勝。左が優勝の野上



男子個人ロードレース

平成24年度全国高等学校選抜自転車競技大会が、福岡県および熊本県で、3月21日～24日の日程で開催された。トラックレースは北九州市の北九州メディアドーム、そしてロードレースは昨年に続き4年連続で熊本県山鹿市に於いて行われた。

3月21日から行われたトラック競技は、22日にインディヴィデュアル・パーシュート女子・男子決勝とポイントレース男子決勝、スクラッチ男子・女子決勝が行われた。

ポイントレース男子はアジア選手権帰りの選手に注目が集まったが、茨城取手第一の吉田拓矢が確実にポイントを重ね、47ポイントで見事優勝。スクラッチ女子決勝は6kmで行われ、奈良榛生昇陽の元砂七夕美が優勝、男子は8kmで行われ、タイミングよくスタートした京都北桑田の孫崎大樹が優勝した。

女子2kmインディヴィデュアルパーシュートは埼玉川越工の細田愛未が、元砂七夕美を僅かにおさえて優勝。男子3kmインディヴィデュアルパーシュートは和歌山北の森口寛己が、仙台商の荒井佑太をおさえて優勝した。

23日は、男子・女子のフリー練習の後に各決勝が行われ、500mタイムトライアルは静岡星陵高の鈴木奈央が、大会新の38秒174を出して見事優勝。1kmタイムトライアルは、岡山工の滝本泰行が1分07秒763で優勝した。

ケイリン決勝女子は静岡星陵高校の鈴木奈央が、岡山工の三宅玲奈を振り切って優勝、500mTTに続いて2種目を制覇した。男子ケイリンは千葉経済の築田一輝が優勝した。スプリントは予選から圧倒的な強さで勝ち上がり、インドで開催されたアジア選手権銅メダルを獲得した岡山工の野上竜太が、予選でも一人10秒台の10秒938で大会新を出すなど、2位の栃木作新学院の坂井洋を寄せ付けず完勝した。

大会を通じて見てジュニアのレベルは、女子男子ともに確実にアップしているのを感じた。ただ残念なのは未熟なハンドルさばきによる落車が多く、集団走行での練習と基礎体力のアップとピストレーサーの基本的なことを体と頭で覚えてレースに望んで欲しい。女子の競技者が昨年に比べて倍増しているのも大変喜ばしいことであるが、指導者の方には練習も工夫しながら、更にジュニア層のレベルアッ

プに繋げて欲しい。

24日に福岡から熊本県山鹿市に場所を変え、4年連続の開催となった特設ロードコースで、男子は7週の80.5km179名、女子は3周34.5km40名が出演。どんよりとした曇り空の下少し肌寒だったが、絶好のコンディションで行われた。

スタートに先がけて、公募した地元市民レーサーら約120名による3周34.5kmのオープニングレースが行われた。沿道には多くの家族や関係者、地元住民が集まって、毎年この行事は大変な盛り上がりを見せていた。その中で女子が10時にスタートし、その1分後に男子がスタートした。女子は奈良榛生昇陽の元砂七夕美が、トラック競技のスクラッチに続いて1時間03分248で優勝。男子は和歌山北の岡本隼が、長野篠ノ井の横山航太をゴールスプリント勝負で制して見事優勝した。

学校総合成績は和歌山北高校が32ポイントで1位。女子は奈良県立榛生昇陽高校が、25ポイントで1位を飾った。全日程を見てピストもロードもレベルがアップしている。ジュニア層からエリートクラスへの道をさらにスムーズにいくように、連盟としても各関係者と意見交換をしながら、チームジャパンとして今後国際大会でもメダルが取れるようなシステムで、努力、協力しあっていかなければならないと痛切に感じた。

(広報委員長・強化副委員長 塚本芳大)

【競技結果】

平成24年度全国高等学校選抜自転車競技大会
(2013/3/21-23 T:福岡・北九州メディアドーム
3/24 R:熊本・山鹿)

男子スプリント

- 1 野上 竜太 岡山 岡山工業高 10.938
- 2 坂井 洋 栃木 作新学院高 11.381
- 3 竹元 太志 福岡 祐誠高 11.358

男子1kmタイムトライアル

- 1 滝本 泰行 岡山 岡山工業 1:07.763
- 2 堀 航輝 香川 石田高 1:08.665
- 3 酒井 雄多 千葉 千葉経済 1:08.731

男子ケイリン

- 1 築田 一輝 千葉 千葉経済高
- 2 小松 誠悟 栃木 作新学院高
- 3 大木 拓斗 福島 学法石川高

男子3km個人パーシュート

- 1 森口 寛己 和歌山 和歌北高 3:35.418
- 2 荒井 佑太 宮城 仙台商高 3:40.020
- 3 安田 京介 京都 北桑田高 3:39.946

男子スクラッチ(8km)

- 1 孫崎 大樹 京都 北桑田高
- 2 山本 修平 東京 昭和一学園高

- 3 中野尻 祥 和歌山 和歌北高

男子ポイントレース(24km)

- 1 吉田 拓矢 茨城・取手一高 47p
- 2 山本 大喜 奈良・榛生昇陽高 39p
- 3 大浦 堯 富山・氷見高 39p

男子個人ロードレース(80.5km)

- 1 岡本 隼 和歌山 和歌北 2:03:46.6
- 2 横山 航太 長野 篠ノ井高 2:03:46.7
- 3 黒枝 咲哉 大分 日出陽谷 2:03:48.5
- 4 原井 博斗 福岡 祐誠高 2:03:49.7
- 5 中野尻 祥 和歌山 和歌北高 2:03:50.1
- 6 伊東 泰輝 大分 別府商高 2:03:51.4

女子500mタイムトライアル

- 1 鈴木 奈央 静岡 星陵高 38.174
- 2 三宅 玲奈 岡山 岡山工高 38.917
- 3 福田 礼佳 栃木 作新学院高 39.465

女子ケイリン

- 1 鈴木 奈央 静岡 星陵高
- 2 三宅 玲奈 岡山 岡山工高
- 3 福田 礼佳 栃木 作新学院高

女子2km個人パーシュート

- 1 細田 愛未 埼玉 川越工高 2:40.976
- 2 元砂七夕美 奈良 榛生昇陽 2:42.461
- 3 八木 梓 京都 北桑田高 2:45.014

女子スクラッチ(6km)

- 1 元砂七夕美 奈良 榛生昇陽高
- 2 中井 彩子 宮崎 日向高
- 3 大谷 杏奈 愛知 桜丘高

女子個人ロードレース(34.5km)

- 1 元砂七夕美 奈良 榛生昇陽 1:03.24.8
- 2 谷 伊央里 群馬 前橋育英 1:03.28.1
- 3 三宅 玲奈 岡山 岡山工高 1:03.32.0
- 4 大谷 杏奈 愛知 桜丘高 1:03.32.9
- 5 三浦 涼香 愛知 桜花高 1:03.35.9
- 6 日野 友葵 愛媛 丹原高 1:03.45.1

男子学校対抗(総合)

- 1 和歌北高校 和歌山 32点
- 2 祐誠高校 福岡 19点
- 3 岡山工業高 岡山 18点



女子学校対抗(総合)

- 1 榛生昇陽高 奈良 25点
- 2 岡山工業高 岡山 20点
- 3 星陵高校 静岡 19点



平成25年度 事業計画

公益財団法人 日本自転車競技連盟

我が国における自転車競技界を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。

I. 事業計画概要

〔総務委員会〕

平成25年度は公益財団法人となる最初の年度であり、公益認定法において公益目的事業として掲げられている“スポーツを通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養する”ことについて、初心に立ち返るとともに、公益財団法人としてより一層の透明性の高い業務運営を行っていくこととする。併せて、本連盟における社会的存在の責務を自覚し、競技大会を通じて自転車の安全マナーの啓発活動の実施や、アンチドーピング委員会と連携し、アンチドーピング活動の啓発にも積極的に協力していくこととし、指導現場における暴力行為やハラスメントについては自らを厳しく律していくこととする。

本連盟実施事業の多くが競輪補助金を原資としているが、平成23年度から自己負担金が総額の3分の1となり、連盟の決算も21年度からの単年度赤字を解消できていない。

我々は、このような厳しい状況を踏まえながらも、一歩ずつ着実な改善を目指すこととしたい。

そのために、諸経費の支出について引き続き緊縮を図ると共に、自主財源の増額を企図し、また、競技運営委員会と連携し、競技者等登録システムにおいて未登録者が自身によって簡易に競技者登録することを可能とするシステムを構築し、既存システムの利便性をさらに高めることにより、競技者人口の増加策につなげていきたい。

さらに、国際大会においてメダルを獲得しうる選手の育成を図るとともに、競技運営委員会と連携し、近い将来の国体における女子種目導入に向けて国体検討委員会（仮称）を設置するとともに、指導者・コミッセルを育成することにより国内大会のレベルアップを図り、もって自転車競技の普及振興を推進することとしたい。

なお、本連盟事務所が入居するビルが再開発地区にあるため、12月末までに移転を実施する。

〔広報委員会〕

本年度は、自転車競技の魅力を広げ、広く周知するため、以下の諸事業を実施する。

1. ホームページでの情報発信

大会結果速報等のタイムリーな情報発信に努めると共に、全日本の大会開催要項、競技結果の掲載など自転車競技の魅力を広げ、一般の方にアピールできるような情報発信に努めていく。また、競輪補助事業としての効果を発信することも重要な役割であることから各大会の報告を掲載する。

2. 広報誌「シクリズムエコー」の発行

経費節減の折から発行回数、印刷部数を見直し、年間6回を目途に発行回数を変更し、情報発信はホームページでの掲載をメインとする。しかしながら、紙媒体での配布も必要であることから、イベント会場での配布、諸団体への配布を通じて広く自転車競技の啓発普及につなげたい。

3. 広報・報道対応

各種目の国際大会への参加選手決定に伴う報道発表や競技結果の配信などを行う。また、全日本選手権等大会における来場する報道機関に対して、各現場で適切な対応を心がける。

4. 自転車競技のPR活動の実施

サイクルモード等でのイベント出展を行い、一般の方へ自転車競技の紹介を行い、更に会場でJCF会員登録を促進するための案内を行う。

また、全日本選手権大会におけるトラックレース、ロードレースへの観客動員を意識したPRの実施も絞って行うほか、実際の映像を見て関心を高めてもらうため、ホームページに新たに動画を取り込むべき検討準備を行う。

〔競技運営委員会〕

1. 全日本選手権大会の開催

(1)UCI管轄8部門での全日本選手権大会開催

国際自転車競技連合（UCI）の管轄する自転車競技8種目（ロード、トラック、シクロクロス、MTB、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング）の全種目において全日本選手権大会を開催し、我が国における自転車競技の普及・振興を図る。これら全日本選手権大会は日本国内における最高位の大会として相応しい、国際規則に準拠した高度で円滑な大会運営と、高

いコストパフォーマンスのバランスを追求しつつ、原則として国際大会への派遣代表選手選考の機会として設定し、参加者のモチベーションを高く保つこととする。

(2)参加申込み資格の明確化・多角化

全日本選手権大会への参加申込み資格としては、すでに国際的に活躍してUCIランキングポイントを保持している者や前年度全日本選手権大会で一定の成績を収めている経験豊富な競技者を含めることと併せて、日本国内各地で行われる本連盟ならびに加盟団体主催事業大会から広く上位者を選定することにより、地域的・階層的に幅広く門戸が開かれたハイレベルな選手層の参加に配慮するものとする。

(3)開催地公募制度の活用

大会の開催にあたっては開催地の協力が不可欠なことから、開催地公募制度を種目毎の特性に応じて活用し、人的・施設的・資金的側面等において手厚い協力が得られる地方との連携を図りつつ、活力ある大会運営を図る。

また、各地方における大規模大会の実施が、当該地域における継続的な大会開催のきっかけとなるよう、大会運営ノウハウの蓄積と伝授に留意する。

(4)大会開催資金の獲得

大会開催資金の獲得に向けて、協賛企業の募集・マスメディアに対する働きかけ、開催地行政との調整、運営コストの見直しを多元的に進めることとする。

(5)アンチ・ドーピング活動の徹底

ドーピング委員会と連携し、全日本選手権ならびにそれに準ずる全国大会でのアンチ・ドーピング活動を行う。

2. 国民体育大会の女子種目導入への取り組み

男女種目・参加者数の同数化が図られてきている世界的な情勢に対応すべく、近い将来の国体における女子種目導入に向けて積極的に検討を進める。併せて、地域大会を通じた参加資格制度の整備・タイム種目の参加資格の設定などによる予選の簡素化・時程短縮を図るなど、簡素かつハイレベルな大会への進展を模索する。

3. 日本国内における国際大会の開催

ロード・レースについては、引き続きUCIカレンダー登録大会を日本国内で積極的に開催し、サイクルスポーツの日本における活性化を図るとともに、日本人選手の

国際的な活躍の基礎を確保することにつとめる。

トラック・レースについても、2014年から世界選手権参加国に対して自国内での国際大会開催が義務づけられることに備え、日本国内での国際大会開催の準備を進める。

シクロクロス、マウンテンバイク、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリングについて、UCIカレンダー登録レースの開催を引き続き積極的に推進する。

4. 審判・スタッフ等の研修・資格制度の充実

自転車競技の普及発展には、安全で円滑に運営される大会数の充実が必要であり、それを担う高度な技量と経験を有する審判の育成が必須であり、引き続き公認審判員の育成に力を注ぐ。公認審判員は、大会運営の質の確保にあたり必須の資源であり、本連盟の事業的発展には公認審判員の人的資源の発展が必須であった。公認3級審判員、2級審判員講習会の実施主体たる加盟団体の継続的協力を引き続き強く要請する。また、将来的に国際コミッセルとして執務可能な人材の育成にも長期的視点で取り組み、1級審判員講習会の講義内容・試験の質的向上を図る。講習会カリキュラムについては、24年度にそのガイドラインを定めたところであるが、講習会用ツールの開発・改善を進めて、講習会の質的向上を図りつつ、開催時の負担軽減によって講習機会の増大も図る。

5. コーチ・スタッフ等の研修・資格制度の充実

大会運営のレベル向上には選手・審判のみならず参加するチーム・スタッフの基礎的知識・技能の向上も必須である。

本年度 国民体育大会(東京開催)から、都道府県チームの監督は日本体育協会のコーチ、上級コーチ、もしくは指導員の有資格者であることが義務づけられる。これに向けて平成23年度・24年度は日本体育協会コーチ資格講習会を本連盟主催により実施し、またいくつかの都道府県において指導員資格講習会を実施いただいたところである。本来、大会参加申込み時点で有効なライセンスの発給を受けていることが必要であるが、平成25年度は移行年として受講中のものも特例として認められることから、25年度もコーチ講習を実施することとする。

指導員資格講習については、各都道府県自転車競技連盟にて開催可能なことか

ら、日本各地における開催をサポートしていく体制を整備することとする。

その際、受講済みの人材が講師として活躍できる場の確保にも留意する。

大会に参加するものは遍くライセンス保持者であることが求められるものの、コーチ・監督以外のチームスタッフ向けライセンスは発給されてこなかったが、平成24年度には「チーム・アテンダント」資格の講習会要件が制定されたことを受け、チーム・サポート・スタッフとして求められる最低限の競技規則に関する知識と、スタッフとしての心構えを備えた「チーム・アテンダント」ライセンス保持者の増大に向けて、講習会の活性化を図る。なお、将来的には大会参加に際して、いずれかのライセンス保持を必須とする方針である。

6. 競技者ライセンス制度の充実

我が国における自転車競技の普及発展に必要な登録競技者数の増大と、登録者向け大会数の増大に向けて、すでに制度化されているビギナー向け大会における臨時登録制度の活用とともに、ビギナー・若年層が登録しやすい仕組の拡充を図る。

また、本年度から通年登録者には賠償責任保険が自動付帯される(プロフェッショナル競技者を除く)。万が一の事故時対策が強化されたことの周知徹底をはかり、登録競技者数の増大に寄与することが期待される。もちろん、大会中・練習中を含めて事前の事故防止対策が重要である。今後引き続き、傷害保険のオプション付与やツアー関連のメリット付与等、ライセンス保持者へのサービスレベル向上の検討を進める。

7. パブリシティへの対応

競技大会運営にあたっては、安全・公平・公正なる運営を旨としつつも参加者・観客視点を尊重し、より多くの人々から共感を得て我国における自転車競技の普及発展に寄与することを目指すとともに、新たな競技者の登録へのきっかけづくり、メディアへの露出度向上を通じた各方面からの支援・協賛の増大に配慮する。

8. 2020東京オリンピック・パラリンピック招致への取り組み

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催は、東京・日本におけるスポーツの日常化に対して大なる寄与が期待される。自転車競技においても、東京での本格的ロードレースの開催、トラック競技場、MTB競技場、BMX競技場の

整備など、今後の普及発展につなげてゆく良い機会であり、オリンピック・パラリンピック招致に積極的に取り組んでいく。

9. 東日本大震災復興支援への取り組み

本連盟として復興支援に寄与可能なことは何があるか、という問いは永遠に続くが、被災地・周辺における大会の開催、は比較的容易な回答のひとつである。大会開催は、場合によっては開催地に負担をかける危惧もあるが、参加者・大会運営関係者・観客・メディア関係者など多くの人々が訪問することは、震災に対する認識を新たにす機会を提供になるのではないかと。

10. 小委員会・部会制度の活性化

種目別小委員会活動の活性化を図り、UCI管轄8部門すべてに亘る自転車競技の振興を推し進める。コミッセル部会活動の活性化により、大会競技運営の質的向上と、コミッセルの将来的な人材育成を図る。

【選手強化委員会】

ナショナルチームが、オリンピックにおいて継続的にメダルを獲得し、世界の強豪国と肩を並べるには、日本人の生物学的特徴、更に現在の競技レベルとその将来的展望、並びにナショナルチームを取り巻く諸環境を考慮した結果、以下の4項目のプラン推進が不可避である。

- ①ジュニア世代からの一貫した強化プログラム及び指導者養成並びに認定制度の構築。
- ②より多くの才能を発掘するための事業の整備。
- ③現在成長が著しく、将来的にメダル候補の輩出が期待できる女子短距離選手の重点強化。
- ④日本人の資質に適した力の利用効率を重視した強化プログラムの導入。

以上の4項目のプランを重点強化の柱として強化事業を推進する。

トラック競技については、主要国際大会の標準となる「伊豆ベロドローム」を拠点に強化合宿を積極的に実施し、世界選手権大会等国際大会でのメダル獲得に努める。

さらに、2013-14シーズンの世界選手権大会等国際大会の参加枠システムの変更に伴い、UCI公認国際大会へ積極的に日本代表選手団を派遣し、全種目での参加枠獲得に努める。

また、2016年リオデジャネイロ大会に向けた選手の発掘を目的に選考合宿を実施し、選手の育成、強化に努める。

ロード競技については、海外チーム所属強化指定選手並びに国内強化指定選手との連絡を密にして体調把握し、世界選手権大会でのメダル獲得に努める。

その他国際大会においては、U23の選手を中心としてナショナルチームを編成し、国内合宿並びに国際大会へ積極的に派遣し選手強化に努める。

MTBについては、リオデジャネイロオリンピック並びに2020年までの7年のタイムスケジュールを作成し、これを前提に海外組支援と国内組（ユース、ジュニア、U23）の強化に努める。

BMXについては、日本サイクルスポーツセンターを合宿拠点として活用し、世界選手権大会等での上位入賞に努める。

ジュニア競技者の強化については、全国高等学校体育連盟と連携を密にし、国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化、育成に努める。

女子競技者の強化については、本年度も国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化、育成に努める。また、女子競技者においては他種競技団体との連携を密にし、次回リオデジャネイロオリンピックに向けた選手の発掘に努める。

【アンチドーピング委員会】

昨今のツールドフランスでのドーピング違反報道は、まるで自転車競技といえばドーピングというイメージを持つくらいスポーツ界のみならず、一般社会全体に与える影響が大きいと思われる。このことは本連盟にとっても非常に重要な意味を持つものであり、決して対岸の火事的捉え方をするのではなく真摯に受け止め、ドーピング防止策を進めていかなければならない。

具体的には、ドーピング防止、抑止力の核をなす二本の柱、「大会検査」、「啓発活動」を活動の軸にすえて事業を実施したい。

1. 検査の実施と検査体制の充実

(1) JADA 派遣 DCO との協同作業

国内で開催される各種目ごとの全日本選手権（ロード、トラック、シクロクロス、MTB、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング）において検査を実施する。検査の実施に当たっては、検査の国内統括機関である JADA（日本アンチドーピング機構）の協力の下、JADA 派遣 DCO（ドーピング・コントロール・オフィサー）と本連盟アンチドーピング委員会推薦の DCO とで検査を担当する。本連盟アンチドーピング委員会のみで検査を行って

た以前と異なり、JADA 派遣 DCO と協同作業することにより、検査の公平性、客観性を保つことができる。

(2) シャペロンの増員、継続性

WADA 規定、UCI 規定両面からも大会検査におけるシャペロンの役割が重要になってきている。具体的には、対象選手をよりきめ細かく監視するためには人数の増員が不可欠であり、さらにはそれらのシャペロンが多くの試合を経験するということが重要である。

2. 啓発活動の充実

啓発活動の充実を図るには、講習会の開催が必要であるがアンチドーピング委員会単独で開催することは現実的には難しく審判講習会等と一緒にするなどの工夫が必要である。また、選手、指導者対象に開催される講習会へ積極的に講師の派遣を計りたい。さらに、現在すでに JCF ホームページによる UCI 規則の改訂、禁止薬物等に関する問い合わせ、広報を行っているが、これをさらに充実し選手・監督からの要請に応えたい。具体的には WADA、UCI の競技規則改定があった際、選手・監督がより理解しやすいように改正点を抽出するなどして掲載する。将来的には、大会参加者に対して、ホームページに掲載してある重要事項をプリントアウトさせて受付を行う方法も有効と考えられ、実現化に向けたホームページの課題の整備、改善を図る。

次に、本連盟所属の RTPA 選手は現在 10 名いるが、これまでは問い合わせがあれば質問に答える形であったり、所属チームまかせの面があった。今後は、本連盟アンチドーピング委員会の責任として事務局を通して行う。

最後に、昨年度も北海道大学薬学部を通して分析を行っている使用薬物リストの分析を本年も引き続き行い、分析結果をアンチドーピング啓発活動に供したい。

【国際推進部会】

本連盟によるチーム派遣のみならず個々のチーム、競技者、審判員らによる多様な国外競技活動や、国内での国際大会開催、国際化を視野に入れたチーム等の体制の整備など、多年に亘り国際的活動は増加し続けている。

この状況下で、わが国と世界、特にアジア圏の自転車競技の健全な継続的發展に資するために、国内、国外から評価される高いブランド力が求められる。

そのために国際的競技大会の質を高め、さらに国内大会に反映させるためにも、国際的な情報の収集、共有、発信とともに優れた制度の導入も含めた実践も重要である。

これらのことを踏まえて、国際推進部会は、本連盟諸事業の場において、人材の発掘・養成・登用、資料・文書の 2ヶ国語（日本語・英語）化、国内外の情報の収集、対外（国内外）的な情報の蓄積及び公開、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化及び国際化に必要な事項の実践のための施策を推進する。

そして、これらの円滑な推進のため、関係者/関係団体/関係国との良好で緊密な協力関係を涵養すべく活動する。

実施事業については以下のとおりである。

II. 実施事業

1. 国内競技大会関係事業

- ① 全日本自転車競技選手権大会（トラック、ロード、個人TTロード、室内自転車競技、マウンテンバイク、シクロクロス、BMX、トライアル、パラサイクリング）
- ② その他国内大会（JOC ジュニアオリンピックカップ、全国都道府県対抗大会、チャレンジサイクルロードレース大会）
- ③ 国内大会委員会調査事業

2. 国内における国際競技大会事業

- ① 2013 八幡浜インターナショナル・クロスカントリー・レース
- ② 伊豆 BMX 国際大会
- ③ 関西シクロクロス野洲ラウンド
- ④ 信州シクロクロス野辺山ラウンド 1&2
- ⑤ 2013 サイクルサッカー・ジャパンカップ in 草津

3. 国際競技大会関係事業

- ① 世界選手権自転車競技大会（トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車競技、シクロクロス、トライアル、Jr トラック、）選手団派遣事業
- ② ワールドカップ大会選手団派遣事業
- ③ アジア自転車競技選手権大会（トラック、ロード、マウンテンバイク）選手団派遣事業
- ④ 日韓対抗学生自転車競技大会派遣事業
- ⑤ 国際会議への派遣事業

4. 加盟団体関係事業

- (1) 都道府県連盟関連事業
 - ① 都道府県連盟関連事業
 - ② 連絡会議
- (2) 日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業
 - ① 全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会

- ②プロサイクリスト選手強化
③プロサイクリスト国際競技大会
(3) 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業
①全国高等学校選抜自転車競技大会(トラック、ロード)
②全国高等学校自転車競技全国合宿(ブロック・全国)
③チョンジュ MBC 国際ロードレース派遣
(4) 日本学生自転車競技連盟関連事業
①全日本大学対抗選手権自転車競技大会
②全日本学生選手権自転車競技大会(トラック、ロード、チームロード)
③東日本学生選手権トラック自転車競技大会
④西日本学生選手権トラック自転車競技大会
⑤全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会
⑥全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会
⑦明治神宮外苑大学クリテリウム
⑧ツール・ド・いくちじま 2013
⑨審判機材整備事業
(5) 全日本実業団自転車競技連盟関連事業
①全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
②全日本実業団自転車競技選手権大会
③東西地域別実業団(トラック、ロード)
④全日本実業団サイクルロードレース in 石川大会
⑤全日本実業団サイクルロードレース in 輪島大会
5. アンチドーピングの推進事業
全日本選手権大会等主要大会においてドーピング検査を実施し、また講習会等の実施によりアンチドーピングを積極的に啓発、推進する。
6. 強化事業
(1) 強化合宿
(2) 国内合宿基地等維持
(3) コーチ・スタッフの整備等
(4) 競技用機材等整備
7. 普及事業
(1) 全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会
(2) 自転車競技の普及・広報
(3) 広報誌発行事業
(4) 広報(宣伝、現地報道対応)
(5) アンチドーピング活動
Ⅲ. 共催事業の実施
(1) 第16回ツアー・オブ・ジャパン(自転車月間推進協議会他)
(2) ツール・ド・おきなわ2013(NPO 法人ツール・ド・おきなわ協会他)
(3) ツール・ド・北海道2013((公財) ツール・ド・北海道協会)
(4) シマノ鈴鹿国際ロードレース大会((株) シマノ)
(5) 平成25年度全国高等学校総合体育大会((公財) 全国高等学校体育連盟、大分県)
(6) 第68回国民体育大会自転車競技会(文部科学省、(財) 日本体育協会、東京都他)
(7) 日本スポーツマスターズ2013自転車競技((公財) 日本体育協会、北九州市)
(8) 第9回全国ジュニア自転車競技大会(四日市サイクリススポーツ・フェスティバル実行委員会)
(9) 第5回全日本ステージ・レース in いわて(NPO 法人岩手県バイコロージーをすすめる会)
(10) 第15回 TOUR de 熊野(NPO 法人スポーツプロデュース熊野)
(11) 2013ジャパンカップサイクルロードレース大会(宇都宮市、NPO 法人ジャパンカップサイクルロードレース協会)
Ⅳ. 加盟団体等実施事業の後援・競技主管

収支予算書総括表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	日本体育協会 補助事業特別会計	国際競技力 向上事業特別会計	リビッパ・ジャパン 事業特別会計	JKA・公益補助 事業特別会計	ｽｰﾌﾟｰ振興基金 事業特別会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
①基本財産運用収入	950,000	0	0	0	0	0	0	950,000
②特定資産運用収入	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000
③会費収入	31,588,000	0	0	0	0	0	0	31,588,000
④事業収入	27,970,000	0	0	0	0	0	0	27,970,000
⑤補助金等収入	46,706,000	6,000,000	26,560,000	3,200,000	261,688,000	62,134,000	0	406,288,000
⑥負担金等収入	5,240,000	0	8,288,000	0	0	16,363,526	0	29,891,526
⑦寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧雑収入	1,632,000	0	0	0	0	0	0	1,632,000
⑨他会計からの繰入金収入	0	0	5,000,000	0	64,775,000	0	△69,775,000	0
事業活動収入計	114,096,000	6,000,000	39,848,000	3,200,000	326,463,000	78,497,526	△69,775,000	498,329,526
2. 事業活動支出								
①事業費支出	12,906,000	6,001,000	39,848,000	3,200,000	326,463,000	78,497,526	0	466,915,526
②管理費支出	80,937,000	0	0	0	0	0	0	80,937,000
③他会計への繰入金支出	69,775,000	0	0	0	0	0	△69,775,000	0
事業活動支出計	163,618,000	6,001,000	39,848,000	3,200,000	326,463,000	78,497,526	△69,775,000	547,852,526
事業活動収支差額	△49,522,000	△1,000	0	0	0	0	0	△49,523,000
II 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
①特定資産取崩収入	4,006,000	0	0	0	0	0	0	4,006,000
投資活動収入計	4,006,000	0	0	0	0	0	0	4,006,000
2. 投資活動支出								
①特定資産取得支出	8,096,000	0	0	0	0	0	0	8,096,000
投資活動支出計	8,096,000	0	0	0	0	0	0	8,096,000
投資活動収支差額	△4,090,000	0	0	0	0	0	0	△4,090,000
III 予備費支出								
①予備費支出	0	0	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	△53,612,000	△1,000	0	0	0	0	0	△53,613,000
前期繰越収支差額	259,425,804	7,200,285	3,585,629	1,029,522	0	0	0	271,241,240
次期繰越収支差額	205,813,804	7,199,285	3,585,629	1,029,522	0	0	0	271,628,240



「公益財団法人 日本自転車競技連盟」移行のお知らせ

本連盟は、平成25年3月21日、内閣総理大臣より公益財団法人への移行を正式に認定され、同年4月1日、新たに「公益財団法人日本自転車競技連盟」として名称を変更いたしました。

特別企画

アジア選手権2冠 の原井博斗に聞く



アジア選手権で金メダルを獲得した原井博斗選手に、直後に行われた全国高等学校選抜自転車競技大会で話を聞いてみた。

インドのアジア選手権大会ではコンディショニングを整えるのが大変で、気

候に合わせて体調や食事に気を使ったとのこと。2種目で金メダルを取ったことでエリートで世界に行きたい気持ちが強くなった様だ。自転車に乗り始めた動機は、中学1年生の時に近所の知り合いに誘われて久留米競輪場で自転車競技を始めたとのこと。小さい頃はドッチボールを一生懸命やり福岡県大会まで進み、自転車に乗り始めてからは、普通の自転車では味わえないスピードのとりこになり、自転車一筋の高校生活を送っている。

普段のトレーニングは久留米競輪場で学校の先生にコーチを受けながら競輪選手会福岡支部の藤田支部長にも色々と指導を受けロード練習等も取り入れ日々学校と自転車を両立させる生活を送っている。

今後の夢は？

大学に行ってオリンピックを目指したい。将来は競輪選手も考えています。

目標とする選手は？

同県の北津留翼さんです。一回お会いして緊張してしゃべれなかったので又話をして色々聞いてみたいです。

好きな食べ物は？

お寿司です。これからは栄養学とか競技に結びつく事も勉強してみたいです。

勉強の方は、少し苦手とのことであるが、座右の銘で、「為せば成る」で頑張ってますとのこと。インタビューをしてみても自転車に乗っているときとは違い、ハニカミながらもハッキリ答えてくれる好青年で、将来エリートクラスになって自転車界を引っ張って行ってくれることを確信した。(聞き手：広報委員長・強化副委員長 塚本芳大)

全日本選手権大会のご案内

日本自転車競技連盟では、8部門10大会の全日本選手権大会を開催しています。本年度は、すでにトライアルは終了しましたので、あと8大会を開催いたします。

6月9日	ロード個人TT	秋田／大潟
6月9日	パラサイクリングロード	秋田／大潟
6月22・23日	ロードレース	大分／大分・豊後大野
7月6・7日	BMX	静岡／日本CSC
7月19・20・21日	マウンテンバイク	静岡／日本CSC
7月27・28日	トラックレース	静岡／伊豆ベロドローム
7月27・28日	パラサイクリングトラック	静岡／伊豆ベロドローム
12月8日	シクロクロス	(会場未定)
12月14・15日	室内自転車競技	大阪／大阪府立体育会館

新しい翼で、世界の空へ。

member of oneworld



JAPAN AIRLINES

第2回全日本選手権トライアル in 新城

エリート 20 インチ、寺井が2連覇!



4月13日・14日、愛知県新城市の桜淵公園で、第2回全日本選手権トライアル in 新城が開催された。

昨年からスタートした今大会、今年は土・日2日間の開催となり、土曜日午前にエリートの予選、午後にはエリート以外の決勝、そして日曜日にエリートの決勝が行われた。

初日のエリート予選は20インチと26インチそれぞれが行われ、20インチでは昨年の覇者である寺井が1ポイントの1位で予選を終えた。また午後のジュニア決勝では、飯沼が2連覇を果たした。

2日目のエリート決勝、まず26インチ6名が予選の逆順でスタート。予選1位の西窪が最後にスタートしていった。

【競技結果】

第2回全日本選手権トライアル in 新城 (2013/4/13-14 愛知・新城)

エリート 20

- | | |
|------------|-----|
| 1 寺井 一希 埼玉 | 25p |
| 2 山本 雅也 鳥取 | 34p |
| 3 柴田 泰嵩 愛知 | 41p |



エリート 26

- | | |
|-------------|-----|
| 1 長屋 佳政 岐阜 | 46p |
| 2 西窪 友海 和歌山 | 47p |
| 3 梶谷 隆太 岐阜 | 55p |



ジュニア

- | | |
|------------|-----|
| 1 飯沼 裕慧 群馬 | 39p |
| 2 甘利 大斗 長野 | 41p |
| 3 坪井 大地 宮城 | 50p |



た。そして混戦の中、わずか1ポイント差で長屋が初優勝をかざった。

20インチ6名も予選の逆順でスタート。前日からコース変更があり、寺井も苦戦を強いられるが、2位に9ポイント差をつけ2連覇を達成した。



エリート 20 のチャンピオン寺井

ウイメン

- | | |
|------------|-----|
| 1 小川 菜花 長崎 | 38p |
| 2 胡中 理沙 大阪 | 49p |
| 3 水野 真美 大阪 | 53p |



ウイメンのチャンピオン小川



ガールズ (1997-1998 年生まれ)

- | | |
|------------|-----|
| 1 泉沢 仁山 梨 | 15p |
| 2 大原聡一郎 広島 | 17p |
| 3 斉藤 夏樹 東京 | 21p |

ミメ (1999-2000 年生まれ)

- | | |
|------------|-----|
| 1 土屋 凌我 長野 | 2p |
| 2 高橋 靖矢 埼玉 | 17p |
| 3 塩崎 太夢 山梨 | 24p |

ガールズ (2001-2002 年生まれ)

- | | |
|------------|-----|
| 1 氏川 政哉 三重 | 10p |
| 2 豊澤 剛 埼玉 | 12p |
| 3 武田 呼人 三重 | 18p |

ブッシュ (2003-2004 年生まれ)

- | | |
|------------|-----|
| 1 池田 力岡 山 | 14p |
| 2 中澤はくる 長野 | 20p |
| 3 古瀬 颯樹 長野 | 50p |

ガール (1998-2004 年生まれ)

- | | |
|------------|-----|
| 1 安藤 七星 東京 | 57p |
|------------|-----|

— JCF 維持会員のお願い —

さて、本連盟は平成7年5月にプロ、アマ統合により、わが国における自転車競技界を代表する団体として発足して以来、自転車競技の普及・振興に係る諸事業を展開してまいりました。今後も自転車競技の一層の発展を期し、国内大会の充実や国際大会の開催・派遣等活発な事業展開を図る所存です。しかしながら、これら事業活動には多額の経費を要するため、経費節約に努める一方、自主財源の増額を図る一環として従来から維持会員制度に基づき会員各位のご支援を仰いでおります。

今年9月に2020年夏の五輪開催地が決定します。自転車競技は第1回（1896年アテネ五輪）大会からの正式種目でもあります。本連盟も日本・東京での五輪招致活動を支援しています。

また、昨年ロンドンでは3大会連続メダル獲得はなりませんでしたが、次の2016年リオでのメダル獲得のため選手、関係者一同がその目標を達成するため日々努力を重ねております。

つきましては、出費ご多端の折誠に恐縮とは存じますが、何卒かかる実情をご理解いただき、自転車競技のより一層の健全な強化普及・振興のためご支援を賜りますようお願い申し上げます。

維持会費（平成25年度分）

個人会員：年額10,000円を一口とし、一口以上。団体会員：年額50,000円を一口とし、一口以上。

※ 詳しくはお手数ですが、JCF事務局総務部までお問い合わせください。TEL: 03-3582-3713

広報委員会から 広報誌「シクリスムエコー」定期購読のご案内

平成14年度より「シクリスムエコー」個別郵送ご希望の方には、郵送料の一部をご負担いただいております。平成25年度につきましても、ご負担をお願いすることになりました。皆様のご理解をお願い申し上げます。なお25年度の発行回数は6回を予定しております。また、勝手ながら年度途中での申し込みにつきましても、4月号からの1年分とさせていただきます。

平成25年度1,200円（1年分）

お近くのゆうちょ銀行または郵便局より振替払込をお願いいたします。払込先：「シクリスムエコー 00140-4-152006」各加盟団体(都道府県車連)事務局や一部自転車関連施設にもこれまで通り送付いたしますので、ご来訪できる方はご利用ください。また、これまで通り、JCFホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。< <http://www.jcf.or.jp> > なお、JCF維持会員（個人1万円・法人5万円/年間）の皆様へは無料でお送りいたします。

加盟団体事務局変更のお知らせ

● 茨城県自転車競技連盟

〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野2-18-33
折本裕樹 様方
TEL: 090-3217-9772 FAX: 029-842-2229
Eメール: hirokiorimoto@muc.biglobe.ne.jp

● 公益財団法人 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部

〒601-0534 京都府京都市右京区京北下弓削町沢ノ奥15
京都府立北桑田高等学校 内
TEL: 075-854-0022 FAX: 075-854-0310

JCF 事務局人事異動

平成25年4月1日付

事務局次長

奥村 康志（公益財団法人 JKA より出向）

総務部総務課係長

松前 律子（公益財団法人 JKA より出向）

総務部

志摩 謙治（←業務部競技課専門役）

今後の大会予定

期日	大会名	種目	場所
5月3日～4日	MTB ジャパンシリーズJ 1びわ湖高島 STAGE DHI#1	MTB	滋賀/高島市・箱館山スキー場
5月4日～5日	2013JBMXF ジャパンシリーズ第1戦	BMX	大阪/岸和田市・サイクルピア岸和田
5月5日～6日	MTB ジャパンシリーズJ 1びわ湖高島 STAGE XCO#1	MTB	滋賀/高島市・朽木スキー場
5月11日～12日	2013年マウンテンバイク アジア選手権大会	MTB	中国/成都
5月11日～12日	第53回東日本学生選手権トラック自転車競技大会	TR	山梨/笛吹市・境川自転車競技場
5月11日～12日	第33回西日本学生選手権トラック自転車競技大会	TR	京都/向日町競輪場
5月18日～19日	2013J八幡浜インターナショナル XCO#2 (UCI-3)	MTB	愛媛/八幡浜市・市民スポーツパーク
5月18日	第60回全日本プロ選手権自転車競技大会 BMX 競技	BMX	大阪/岸和田市・岸和田競輪場
5月19日	アジア BMX 選手権大会	BMX	シンガポール
5月19日	MTB 八幡浜国際クロスカントリーレース	MTB	愛媛/八幡浜市
5月19日	堺国際クリテリウム	RR	大阪/堺
5月19日～26日	第16回ツアー・オブ・ジャパン	RR	堺、美濃、南信州、富士山、伊豆、東京
5月20日	第60回全日本プロ選手権自転車競技大会トラックレース	TR	大阪/岸和田競輪場
5月25日～26日	2013JBMXF ジャパンシリーズ第2戦	BMX	茨城/ひたちなか市・国営ひたち海浜公園
5月30日～ ^{6/2}	ツール・ド・熊野2013	RR	和歌山、三重

U23 ネイションズカップレース日本代表選手団

大会名 U23 ネイションズカップレース
 ①ロンド・ファン・フラーンデレン・ペロフテン
 ②ラ・コート・ピカルド
 ③ ZLM ツアー

開催場所 ①ベルギー ②フランス ③オランダ

大会期間 ①2013年4月6日
 ②2013年4月10日
 ③2013年4月13日

派遣期間 2013年4月2日～22日

代表選手団

監督 浅田 颯 (JCF ロード強化支援スタッフ)
 コーチ 橋川 健 (JCF ロード強化支援スタッフ)
 メカニック 高橋 優平 (JCF ロード強化支援スタッフ)
 マッサー Nicolas COUDRAY (現地スタッフ)

選手 秋丸 湧哉 (大阪・EQA U23)
 黒枝 士揮 (大分・鹿屋体育大学)
 山本 元喜 (奈良・鹿屋体育大学)
 六峰 亘 (大分・プリヂストンサッカーサイクリングチーム)
 寺崎 武郎 (福井・EQA U23)
 西村 大輝 (東京・シマノレーシング)

補欠 木下 智裕 (神奈川・エカース)
 清水 太己 (東京・EQA U23)
 小橋 勇利 (愛媛・ボンシャンス飯田)

**Women's ツアー・オブ・タイランド 2013
日本代表選手団**

大会名 Women's ツアー・オブ・タイランド 2013
 (UCI 2.2)

開催場所 タイ・バンコク

開催日程 2013年4月8日～10日

派遣日程 2013年4月6日～12日

代表選手団

監督 高橋 松吉 (JCF 強化コーチ)
 メカニック 鬼原 積 (JCF 強化スタッフ)
 マッサー 石田 宗男 (JCF 強化スタッフ)

選手 豊岡 英子 (大阪・パナソニック・レディース)
 金子 広美 (三重・イナメ・アイランド信濃山形)
 針谷千紗子 (栃木・BRITZSCHLAGE)
 上野みなみ (青森・鹿屋体育大学)
 福本 千佳 (大阪・同志社大学)

**2013 ツール・ド・イストリア
日本代表選手団**

大会名 2013 ツール・ド・イストリア
 (UCI ジュニアネイションズカップ)

開催場所 クロアチア

大会期間 2013年4月19日～21日

派遣期間 2013年4月16日～23日

代表選手団

監督 柿木 孝之 (ジュニア強化育成部会)
 コーチ 坂井田米治 (ジュニア強化育成部会長)

メカニック 山脇 靖宏 (ジュニア強化育成部会)

選手 黒枝 咲哉 (大分・日出暘谷高校)
 吉田 優樹 (福島・日本大学)
 横山 航太 (長野・篠ノ井高校)
 山本 大喜 (奈良・榛生昇陽高校)
 岡 篤志 (茨城・キャンデール・チャンピオンシステム)
 橋詰 丈 (東京・昭和第一学園高校)

**グラン・プレシオ・デラ・リベラツィオーネ
日本代表選手団**

大会名 グラン・プレシオ・デラ・リベラツィオーネ

開催場所 イタリア

大会期間 2013年4月25日

代表選手団

選手 小橋 勇利 (愛媛・ボンシャンス飯田)
 菱沼由季典 (神奈川・チームユーラシア)
 六峰 亘 (大分・プリヂストンサッカーサイクリングチーム)
 寺崎 武郎 (福井・EQA U23)
 秋丸 湧哉 (大阪・EQA U23)
 清水 太己 (東京・EQA U23)
 面手 利輝 (神奈川・EQA U23)
 木下 智裕 (神奈川・エカース)

今こそ資源の有効利用を

Toko Metal
Multi Material Recycler

創業110年の歴史
 原材料再生のエキスパート
 24時間対応の柔軟な受入体制

東港金属株式会社
www.tokometal.co.jp

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

第18回西日本チャンピオンサイクリングロードレース (2013/3/17 広島・中央森林公園)

A-E (61.5km)

1	ガイイワカ	マルクス POL	マトリックス	1:31:31.86	
2	永良	大誠	兵庫	マトリックス	1:31:31.91
3	窪木	一茂	和歌山	マトリックス	1:31:32.00
4	小牧	祐也	大阪	マトリックス	1:32:51.26
5	向川	尚樹	大阪	マトリックス	1:32:51.56
6	白石	真悟	山口	シムドリネグ	1:33:06.08

A-M (36.9km)

1	高谷	薫	兵庫	---	1:00:41.61
2	藤井	伸昌	岡山	チーム岡山	1:00:41.80
3	酒居	良和	広島	WILD	1:00:43.31
4	松本	若樹	福岡	Fukuoka	1:00:43.56
5	寺本	道彦	鳥根	ヘアアール	1:00:43.91
6	関口	卓宏	岡山	チーム岡山	1:00:44.09

A-U (36.9km)

1	田	典幸	鹿児島	Espoir Asia	57:02.99
2	日野林	雄大	愛媛	マッサンデックス	58:38.47
3	鈴木	鳳隼	岡山	環太平洋	58:39.78
4	大橋	洋稔	広島	bicinoko	58:40.07
5	水田	宙	東京	東京大	58:40.20
6	木村	太郎	福岡	BlueGrass	58:40.30

A-J (36.9km)

1	柳瀬	慶明	大阪	チーム AVEL	58:34.27
2	吉原	貴幸	香川	石田高	58:34.35
3	岡部	祐太	広島	広島城北	58:34.52
4	浅尾	銀二	岡山	ボンジャンス	58:34.63
5	川口	孔太	高知	高知東工	58:35.06
6	野本	空	愛媛	松山工高	58:35.20

A-F (24.6km)

1	崎本	智子	カカワクテザイン	43:02.89
2	合田	祐美子	早稲田大	44:38.41
3	ハーター	ソングル	---	44:57.20
4	日野	友葵	ボンジャンス飯田	44:57.85
5	神庭	睦実	順天堂大	49:22.64
6	小寺	潤	---	52:17.78

B-1 (12.3km)

1	實兼	康司	広島	クラブ	20:48.12
2	大森	健一	広島	KABA	21:05.30
3	桑田	徹也	広島	野あそび	21:06.81

B-2 (24.6km)

1	亀井	宏	福岡	Kids	40:05.80
2	井ノ上	琢海	福岡	---	40:05.88
3	藤吉	晃士朗	鳥取	Team Nils	40:06.21

B-3 (36.9km)

1	笹木	哲雄	鹿児島	EspoirAsia	58:44.58
2	福永	達也	福岡	---	58:45.21
3	森	正存	愛媛	愛媛県庁	58:45.28

B-キッズクラス (3.2km)

1	森本	凜太郎	愛媛	県ジュニアクラブ	6:47.67
2	森本	真波斗	愛媛	県ジュニアクラブ	8:01.88
3	陶山	亮太	愛媛	愛媛車連	8:04.53

B-キッズ2クラス (12.3km)

1	日野	泰静	愛媛	ボンジャンス	22:01.23
---	----	----	----	--------	----------

2	塩崎	隼秀	愛媛	ジュニアクラブ	23:44.95
3	道見	優太	兵庫	POLPO	23:47.46

B-レディースクラス (12.3km)

1	棟近	陽子	奈良	EURO-W	22:45.07
2	村上	友梨	愛媛	---	22:58.47
3	原田	悦子	徳島	チームミットマン	24:50.10

九州チャンピオンサイクリングロードレース 2013 (2013/3/17 熊本・五木村)

A-E

1	徳田	優	鹿屋体育大	1:55:35.579
2	入佐	直樹	鹿屋体育大	1:55:48.573
3	長瀬	幸治	鹿屋体育大	1:55:48.712
4	馬渡	伸弥	鹿屋体育大	1:55:48.761
5	河津	賢人	九州学院高	1:55:48.806
6	早川	祐樹	鹿屋体育大	1:55:49.204

A-M

1	高井	達朗	PARABOLA	47:23.684
2	丸山	博己	セカンドウインド	47:24.554
3	松元	剛	ZIPPY	47:25.441
4	大友	実	TEAM ハッポウ	47:25.543
5	形岡	吉信	GINRIN 熊本	47:26.009
6	山口	健児	セカンドウインド	47:26.413

A-U

1	和田	竜治	福岡工業大	45:05.857
2	岡崎	克志	久留米大	48:55.736
3	永松	翼	---	48:57.430
4	中野	直樹	---	50:14.740
5	田口	真也	レガ-ミ長崎	50:14.871
6	下川	晋	久留米大	

A-J

1	久保田	康弘	誠英高	44:52.635
2	草場	啓吾	北桑田高	44:53.017
3	桂	慶浩	大和青藍高	44:53.214
4	澤池	陵二	ボンジャンス	44:53.475
5	村田	瑞季	北桑田高	44:53.941
6	安田	開	北桑田高	44:54.283

A-F

1	八木	梓	北桑田高	25:56.649
2	大坪	脩子	サイクルプラス福岡	26:00.209
3	西牟田	啓	ボンジャンス	26:00.597
4	中井	彩子	---	26:01.483
5	藤野	百萌	北桑田高	26:06.321
6	一村	多美代	---	29:07.530

A-JC

1	田川	翔琉	チームMAX	25:53.207
2	茨木	博成	春日中	25:55.864
3	月足	太一	チームMAX	26:46.797
4	倉野	尾一成	---	27:09.899
5	藤本	和輝	---	34:00.548

B-C1

1	阿部	英斗	ウイングスTC	4:35.041
2	福永	隼人	---	4:46.420
3	前田	鳳樹	---	5:21.053

B-C2

1	半田	誠	---	9:00.916
2	茨木	覚新	春日小	9:41.945
3	谷元	音羽	財部きらら	9:50.954

B-C3

1	武田	聖海	チーム正屋	8:08.062
2	入江	航太	Gamadas	8:26.081
3	谷元	奎心	財部きらら	8:28.644

ワールド台湾 2013

(2013/3/18-24 チャイニーズ・タイペイ)

個人総合成績

1	SULZBERGER	Bernard	AUS	18:44.14
2	GRMAY	Tsgabu	ETH	+24
3	POZDNYAKOV	Kiryll	RUS	+25
10	伊藤	雅和	愛知	愛三工業 +46
15	鈴木	讓	神奈川	シムルーシグ +1.04
17	平塚	吉光	静岡	愛三工業 +1.06
31	吉田	隼人	奈良	シムルーシグ +2.51
38	清水	太己	東京	EQA U23 +4.56
39	野中	竜馬	広島	シムルーシグ +5.02
57	内間	康平	沖縄	TEAM NIPPO+10.43
61	寺崎	武郎	福井	EQA U23 +13.24
62	西村	大輝	東京	昭和第一学 +14.19
80	安井	雅彦	東京	シムルーシグ +24.04
88	中島	康晴	福井	愛三工業 +29.29
91	福田	真平	愛知	愛三工業 +37.05
92	入部	正太郎	奈良	シムルーシグ +40.25

第1ステージ 大鵬湾周回コース (144km)

1	POZDNYAKOV	Kirill	RUS	3:15.24
2	CHEUNG	King Lok	HKG	
3	SCWEIZER	Christoph	GER	+8
23	清水	太己	東京	EQA U23
67	内間	康平	沖縄	TEAM NIPPO
96	寺崎	武郎	福井	EQA U23 +9.47
97	西村	大輝	東京	昭和第一学 +12.52
	飯野	智行	群馬	宇都宮ブリッツェン DNF

第2ステージ 台南市 (128.74km)

1	EARLE	Nathan	AUS	2:53.15
2	SULZBERGER	Bernard	AUS	
3	ANDERSEN	Oddbjorn	Klontsen	NOR
33	西村	大輝	東京	昭和第一学園 +54
50	寺崎	武郎	福井	EQA U23 +1.51
60	清水	太己	東京	EQA U23 +2.33
69	内間	康平	沖縄	TEAM NIPPO+3.27

第3ステージ 彰化縣 (142.98km)

1	MAT AMIN	Mohd Shahri	MAS	3:15.33
2	SULZBERGER	Bernard	AUS	
3	MUELLER	Andreas	AUT	
27	西村	大輝	東京	昭和第一学園高
60	清水	太己	東京	EQA U23 +36
72	寺崎	武郎	福井	EQA U23 +1.13
78	内間	康平	沖縄	TEAM NIPPO+1.19

第4ステージ 台中市 (111.22km)

1	BELL	Zachary	CAN	2:39.10
2	VAUBOURZEIX	Thomas	FRA	
3	SULZBERGER	Bernard	AUS	
4	内間	康平	沖縄	TEAM NIPPO
63	寺崎	武郎	福井	EQA U23 +25
67	西村	大輝	東京	昭和第一学園高
69	清水	太己	東京	EQA U23

第5ステージ 桃園ステージ (126.29km)

1	GRMAY	Tsgabu	ETH	2:59.35
2	MAT SENAN	Mohammad Saufi	MAS	+10
3	吉田	隼人	JPN	
30	寺崎	武郎	福井	EQA U23
33	西村	大輝	東京	昭和第一学園高
53	清水	太己	東京	EQA U23 +1.16
73	内間	康平	沖縄	TEAM NIPPO+4.07

第6ステージ 新北市ステージ (112.36km)

1	GIRAUD	Benjamin	FRA	2:37.51
2	JANORSCHKE	Grischa	GER	

- 3 MUHAMAD Adiq MAS
9 寺崎 武郎 福井 EQA U23
40 西村 大輝 東京 昭第一学園高
47 清水 太己 東京 EQA U23
58 内間 康平 沖縄 TEAM NIPPO

第7ステージ 台北市クワリム

- 1 吉田 隼人 JPN 1:03.24
2 GIRAUD Benjamin FRA
3 SHAW Patrick AUS
16 清水 太己 東京 EQA U23
30 西村 大輝 東京 昭第一学園高
72 寺崎 武郎 福井 EQA U23
86 内間 康平 沖縄 TEAM NIPPO+1.44
※各ステージ成績はナショナルチームのみ

— 平成24年度全国地域大会 —

第47回全国地域別自転車道路競走大会
第44回北海道地域別大会津軽大会
インガル・ツ・ロード大会
(2012/6/10 北海道・遠軽)

男子112km

- 1 Brian Barkhouse 道北 NSR 3:49:37.35
2 松田 究 SCF (個人) 3:54:11.69
3 大坪 優介 道北 NSR 3:54:12.85
4 三輪 俊史 DOKYU 3:54:16.20
5 吉村 拓斗 SCF (個人) 3:54:23.08
6 永田 友貴 ファントムパワー 3:54:33.15

第64回関東自転車競技選手権大会
(2012/7/15 山梨・境川競技場) 400m

男子スプリント

- 1 橋本 凌甫 東京 日本大
2 坂井 洋 栃木 作新学院
3 丸田 直 神奈川 法政大

男子1kmタイムトライアル

- 1 伊早坂駿一 茨城 取手一高 1:07.780
2 手嶋 将大 千葉 国分高 1:08.654
3 中島 将尊 群馬 共愛学園 1:09.074

男子ケリツ

- 1 築田 一輝 千葉 千葉経済大附高
2 和田 拓磨 茨城 明治大
3 高橋 築 東京 日本大

男子4km速度競走

- 1 佐々木 龍 神奈川 早稲田大 4:52.74
2 出澤 拓也 神奈川 明治大
3 谷口雄太郎 東京 早稲田大

男子ポイントレース(24km)

- 1 片桐 善也 新潟 吉田高 31p
2 金井 誠人 東京 明治大 22p
3 春木 道洋 埼玉 川越工業高 20p

男子チームスプリント

- 1 神奈川 佐々木・出澤・丸田 1:18.444
2 東京 野口・橋本・今井 1:18.598
3 千葉 築田・酒井・尾上 1:20.290

男子4km団体追抜競走

- 1 東京 伊藤・安井・谷口・金井 4:33.335
2 栃木 福田・吉田・石川・小野寺 4:38.866
3 山梨 小菅・深沢・雨宮・小林 4:41.330

女子500mタイムトライアル

- 1 丸田 京 東京 法政大 38.933
2 福田 礼佳 栃木 作新学院 39.932
3 和地 恵美 神奈川 東工大 40.264

女子スクラッチ

- 1 柳本 愛奈 山梨 笛吹高
2 濱田 真子 東京 湘南愛輪会
3 谷 伊央里 群馬 前橋育英

女子2km個人追抜競走

- 1 柳本 愛奈 山梨 笛吹高 2:44.614
2 濱田 真子 東京 湘南愛輪会 2:48.854
3 丸田 京 東京 法政大 2:53.870

男子総合成績

- 1 東京 37p 2 神奈川 30p 3 茨城 17p

第47回高石杯関東地域自転車道路競走大会
(2013/2/3 埼玉・大宮けんぼグラウンド)

男子個人ロードレース(クワリム)

- 1 倉林 貴彦 東京 なるしまフレンド 41p
2 奈良 浩 埼玉 ちばボクシング 21p
3 吉田 悠人 栃木 作新学院高 18p
4 北野 普識 東京 駒澤大 16p
5 金井 誠人 東京 明治大 11p
6 二戸 康寛 東京 なるしまフレンド 10p

高校男子個人ロードレース(クワリム)

- 1 塩田 航平 埼玉 栄北高 35p
2 小山 貴大 群馬 前橋育英高 27p
3 早川 侑哉 埼玉 栄北高 19p
4 小野寺 玲 栃木 作新学院高 13p
5 岡田 隆矢 茨城 取手第一高 12p
6 直井 駿太 茨城 取手第一高 1p

女子個人ロードレース(クワリム)

- 1 谷 伊央里 群馬 前橋育英高 35p
2 春原 美季 茨城 取手第一高 18p
3 岡田 香織 埼玉 --- 17p
4 大城 実結 茨城 筑波大 6p
5 石塚 優里 栃木 作新学院高 1p
6 後藤 晃子 山梨 甲府工業高 0p

第44回中部8県対抗自転車競技選手権大会
第46回中部8県自転車道路競走大会
(2012/9/16-17 R:長野・下伊那 T:愛知・一宮競輪場)

成年男子スプリント

- 1 小林 郁弥 福井
2 廣田 敦士 三重
3 市原 和希 岐阜

少年男子スプリント

- 1 相馬 義宗 岐阜
2 渡邊 雄太 静岡
3 加藤 大輝 愛知

成年男子1kmタイムトライアル

- 1 深瀬 泰我 静岡 1:10.465
2 神田 龍 三重 1:11.343
3 小澤 大樹 長野 1:12.030

少年男子1kmタイムトライアル

- 1 堀 兼壽 岐阜 1:08.972
2 末本 周平 福井 1:09.431
3 堀田 海人 三重 1:11.255

成年男子ケリツ

- 1 佐野 伸弥 岐阜
2 赤澤 健 長野
3 松本 諒太 三重

少年男子ケリツ

- 1 谷本 奨輝 富山
2 富田 拓海 岐阜

- 3 中川 勝貴 福井

成年男子4km速度競走

- 1 高土 拓也 三重 4:56.960
2 中根 英登 愛知
3 矢野 智哉 岐阜

少年男子4km速度競走

- 1 廣瀬 元輝 福井 5:04.170
2 渡邊翔太郎 岐阜
3 野崎 裕也 石川

成年男子ポイントレース(16km)

- 1 橋本 英也 岐阜 94p
2 榊原 健一 愛知 51p
3 寺崎 浩平 福井 44p

少年男子ポイントレース(16km)

- 1 小玉 凌 愛知 1p
2 鎌足 拓弥 岐阜 0p
3 大浦 堯 富山 0p

男子チームスプリント

- 1 福井 小林・寺崎・末本 1:20.261
2 岐阜 佐野・堀・相馬 1:21.180
3 三重 神田・廣田・堀田 1:21.496

男子4km団体追抜競走

- 1 岐阜 高橋・橋本・矢野・渡邊 4:40.694
2 静岡 深瀬・山本・鈴木・長谷部 4:43.477
3 富山 大浦・近谷・谷本・大浦 4:54.475

女子500mタイムトライアル

- 1 小山 千穂 愛知 40.639
2 鈴木 奈央 静岡 40.979
3 小川 美咲 静岡 41.347

女子個人追抜競走

- 1 中嶋 綺砂 三重 2:55.183
2 鈴木 奈央 静岡 3:00.352
3 小川 美咲 静岡 3:01.162

男子個人ロードレース(クワリム)

- 1 中根 英登 愛知 59:58
2 橋本 英也 岐阜 1:00:27
3 榊原 健一 愛知 1:01:05
4 山本 聖吾 長野 1:01:10
5 武久 弘太 長野 1:02:21
6 寺崎 浩平 福井 1:03:27

女子個人ロードタイムトライアル

- 1 鈴木 奈央 静岡 23:30
2 大鹿美穂子 長野 24:13
3 浅田 聖奈 愛知 24:21

県別対抗成績

- 1 岐阜 127p 2 愛知 86p 3 静岡 73p

第44回近畿地域自転車競技選手権大会
(2012/10/28 滋賀・旧大津びわこ競輪場)

男子スプリント

- 1 堀 僚介 大阪 興國高
2 櫻尾 一知 兵庫 Team POLPO
3 宇佐美元基 兵庫 日生第三高

男子1kmタイムトライアル

- 1 堀 僚介 大阪 興國高 1:10.23
2 酒井 拳蔵 大阪 興國高 1:10.80
3 辻本 学 京都 岩井商会 R. 1:13.03

男子ケリツ

- 1 酒井 拳蔵 大阪 興國高
2 住田 壘 和歌山 和歌山北高
3 長光 亮平 兵庫 関西大

男子 4km 個人追抜競走

- 1 辰己裕次郎 滋賀 --- 5:46.84
 2 大塚 建一 滋賀 コムレーシング 5:50.34
 3 大河内信行 三重 --- 6:49.70

男子ポイントレース (16km)

- 1 松本 貞行 京都 SakataniRacing 27p
 2 國廣 敦志 兵庫 飾磨工業高 21p
 3 中井 唯晶 滋賀 瀬田工業高 17p

男子チームスプリント

- 1 兵庫・飾磨工高 沖・國廣・本間 1:51.76
 2 和歌山・和歌山北高 住田・布居・平松 1:53.85

女子 500m タイムトライアル

- 1 菱田恵美子 滋賀 スターダレーシング 46:25

女子 2km 個人追抜競走

- 1 菱田恵美子 滋賀 スターダ R. 3:14.81

第 47 回全国地域別自転車競技選手権大会
近畿地域大会 (2012/5/27 京都・美山町)

男子ロード (70km)

- 1 辻 貴光 京都 CIERVO 1:42:41.77
 2 雨乞 竜己 大阪 岩井商会 1:42:41.92
 3 涌本 正樹 大阪 涌屋 1:42:41.95
 4 児玉 誠治 兵庫 Lumiere 1:42:42.08
 5 山本 浩史 大阪 ハピタル 1:42:43.23
 6 大塚 航 京都 岩井商会 1:42:43.92

男子 U23 (70km)

- 1 吉岡 直哉 京都 京都産業 1:42:41.84
 2 志野 安樹 京都 同志社大 1:42:43.60
 3 大菅 順弥 京都 同志社大 1:43:11.38
 4 福島 健太 京都 京都大 1:43:11.78
 5 須須田 匠 京都 京都大 1:43:13.47
 6 中西 重智 滋賀 CIERVO 1:43:23.62

平成 24 年度中国地域自転車競技選手権大会
(2012/8/26 鳥取・倉吉自転車競技場) 333.33m

男子スプリント

- 1 中尾 翔 鳥取 ---
 2 渡瀬 勇真 鳥取 倉吉総産高
 3 山下 杏平 鳥取 倉吉総産高

男子 1km タイムトライアル

- 1 小泉 優太 鳥取 倉吉西高 1:09.003
 2 川崎孝一郎 岡山 水島工高 1:09.609
 3 安井 裕詞 岡山 --- 1:12.697

男子ケリソ

- 1 中尾 翔 鳥取 ---
 2 山下 杏平 鳥取 倉吉総産高
 3 福井 敬司 鳥取 ---

男子 4km 個人追抜競走

- 1 金田 聡士 鳥取 倉吉西高 4:57.462
 2 安東 秀倫 岡山 --- 5:17.101
 3 中西一太郎 岡山 --- 5:45.635

男子ポイントレース (16km)

- 1 金田 聡士 鳥取 倉吉西高 19p
 2 寺本 道彦 鳥取 --- 17p
 3 川崎孝一郎 岡山 水島工高 13p

男子チームスプリント

- 1 水島工 川崎・野上・岡野・本郷 1:09.815
 2 鳥取 山下・小泉・福井・中尾 1:10.342
 3 倉吉総産高 清涼・水谷・渡瀬 1:10.397

男子 4km 団体追抜競走

- 1 水島工 川崎・野上・岡野・本郷 5:05.750

- 2 倉吉西 山田・長谷川・前田・松下 5:37.580

女子ポイントレース 200m タイムトライアル

- 1 伊藤 花歩 鳥取 倉吉西高 14.242
 2 後藤 桃子 鳥取 倉吉総産高 15.524
 3 岩崎 智絵 鳥取 倉吉西高 15.664

女子 500m タイムトライアル

- 1 伊藤 花歩 鳥取 倉吉西高 40.777
 2 松本 遥佳 鳥取 倉吉西高 46.562
 3 田村 舞 鳥取 倉吉総産高 46.664

女子 2km 個人追抜競走

- 1 伊藤 花歩 鳥取 倉吉西高 3:05.073
 2 田村 舞 鳥取 倉吉総産高 3:19.604
 3 松本 遥佳 鳥取 倉吉西高 3:20.876

女子 3km 団体追抜競走

- 1 倉吉西高 伊藤・松本・岩崎 4:42.430
 2 倉吉総産高 田村・後藤・涌嶋 5:11.630

第 47 回中国地域別自転車競技選手権大会
(2012/6/10 島根・さくらおろち湖)

成年男子 (98.4km)

- 1 白石 真悟 山口 A 2:47:28
 2 山根 理史 島根 A 2:47:32
 3 酒居 良和 広島 A 2:47:32
 4 杉山 文崇 山口 B 2:47:42
 5 藤原 龍治 岡山 A 2:47:45
 6 京楽 太伸 広島 A 2:47:50

成年男子団体成績

- 1 広島 A 酒居・京楽 9p
 2 岡山 A 藤原・藤井 15p
 3 岡山 B 三村・青江・赤澤 16p

少年男子 (98.4km)

- 1 久保田泰弘 誠英 2:57:18
 2 景山 泰宏 岡山工 2:57:19
 3 足立 竜一 岡山工 2:57:26
 4 吉田 慶 広島山陽 2:58:12
 5 竹本 周平 崇徳 2:58:18
 6 小泉 優太 倉吉西 2:58:19

少年男子団体成績

- 1 岡山工 景山・足立・難波 5p
 2 崇徳 海老本・竹本・引宇根・中原 13p
 3 広島山陽 吉田慶・三次・吉田龍 18p

女子 (24.6km)

- 1 三宅 玲奈 岡山工 53:08
 2 伊藤 花歩 倉吉西 1:01:15
 3 岩崎 智絵 倉吉西 1:01:56

第 44 回四国地域自転車競技選手権大会
(2012/11/18 高知りょうまつスタジアム)

男子スプリント

- 1 高山 雄丞 ---
 2 小川 丈太 鳴門渦潮高
 3 原 良太 徳島大

男子 1km タイムトライアル

- 1 矢野 賢児 競技会中四国支部 1:09.09
 2 原 良太 徳島大 1:12.78
 3 今村麟太郎 高知東工業高 1:13.06

男子ケリソ

- 1 山地 大介 香川県立農業大
 2 小川 丈太 鳴門渦潮高
 3 小橋 勇利 ホンシャ飯田

男子 4km 速度競走

- 1 山地 大介 香川県立農業大 5:00.88
 2 青野 将大 高松工芸高
 3 武智 気吹 松山中央高

男子スクラッチ (8km)

- 1 青野 将大 高松工芸高
 2 高山 雄丞 ---
 3 藤井 太雅 高松工芸高

男子ポイントレース (24km)

- 1 小橋 勇利 ホンシャ飯田 29p
 2 宮内 渉 環太平洋大 21p
 3 藤岡 克磨 ミタハラ和 20p

男子チームスプリント (750m)

- 1 香川 長尾・山地・青野 50:67
 2 高知 矢野・田尾・今村 52:05
 3 愛媛 高山・吉岡・佐々木 52:66

男子 4km 団体追抜競走

- 1 高知 山田・田尾・今村・谷岡 4:56.10
 2 徳島 森・櫻脇・藤井・藤岡 5:13.71
 3 愛媛 宮内・小橋・武智・山下 5:16.48

女子 500m タイムトライアル

- 1 竹井 史香 津田高 39:29
 2 日野 友葵 丹原高 42:85
 3 三宅 真央 笠田高 43:76

ジュニア女子 2km 個人追抜競走

- 1 竹井 史香 津田高 2:51.69
 2 日野 友葵 丹原高 2:56.41
 3 三宅 真央 笠田高 3:09.00

県別得点対抗

- 1 愛媛 49p
 2 高知 48p
 3 香川 47p

第 37 回四国地域自転車道路競走大会
(2012/11/4 香川・宝山湖)

ロードレース (42Km)

- 1 長野 耕治 愛媛 Massa 1:04:41.349
 2 藤井 健司 徳島 徳島 R. 1:04:42.898
 3 松村 和浩 香川 Tyrell 1:04:43.698
 4 今西 大地 高知 江崎 1:04:55.709
 5 今村 公俊 高知 ユーエス 1:05:02.423
 6 水田 圭祐 香川 Tyrell 1:06:25.091

U-23 クラス

- 1 藤岡 克磨 徳島 パルイズ 1:01:53.217
 2 宮内 渉 愛媛 環太 1:02:33.829
 3 前園 浩平 愛媛 立命館 1:04:19.530
 4 木戸 大展 徳島 徳島大 1:04:43.867
 5 井上慎太郎 徳島 徳島大 1:06:42.073

ジュニアクラス

- 1 武智 気吹 愛媛 松山中 1:04:40.331
 2 眞砂 英作 香川 高松工 1:04:41.820
 3 北尾 祥大 徳島 科技工 1:04:42.117
 4 今村麟太郎 高知 高知東 1:04:42.211
 5 青野 将大 香川 高松工 1:04:42.357
 6 谷岡 尚輝 高知 高知東 1:04:42.529

団体成績

- 1 愛媛 A 前園・宮内 5p
 2 徳島 A 藤井・藤岡・木戸 8p
 3 愛媛 B 小橋・河合・武智 21p

平成 24 年度九州地域自転車競技大会
(2012/11/10-12 R:大分・オホホリ
T:福岡・久留米競輪場)

男子スプリント	
1 橋本 瑠偉 佐賀 龍谷	
2 竹元 太志 福岡 祐誠	
3 轟 良生 福岡 祐誠	
男子 1km タイムトライアル	
1 竹元 太志 福岡 祐誠	1:08.95
2 山口 大貴 鹿児島 鹿屋体育大	1:08.98
3 宮成 國仁 大分 大分消防局	1:09.80
男子ケリッ	
1 宮成 國仁 大分 大分消防局	
2 小山 兼司 福岡 祐誠	
3 轟 良生 福岡 祐誠	
男子 4km 速度競走	
1 原井 博斗 福岡 祐誠	4:55.41
2 黒枝 咲哉 大分 日出暁谷	
3 小林 和希 福岡 祐誠	
男子スクラッチ	
1 一丸 尚伍 大分 EQADS	9:53.43

2 水谷 翼 鹿児島 南大隅	
3 川尻 琢磨 長崎 陸上自衛隊	
男子ホイントレース	
1 一丸 尚伍 大分 EQADS	28p
2 原井 博斗 福岡 祐誠	26p
3 小林 和希 福岡 祐誠	24p
男子チームスプリント	
1 大分 宮成・一丸・佐保	1:21.33
2 福岡 小早川・竹元・吉岡	1:23.39
3 佐賀 橋本・永田・前田	1:24.38
男子 4km 団体追抜競走	
1 福岡 小林・轟・小山・原井	4:38.77
2 大分 越海・伊東・加藤・黒枝	4:48.57
3 鹿児島 水谷・宮ヶ原・富尾・水谷	4:55.18
男子ロードレース	
1 一丸 尚伍 大分 EQADS	2:28.12
2 越海 誠一 大分 杵築消防局	2:28.14
3 加藤 達也 福岡 IWI	2:28.15
4 小林 和希 福岡 祐誠高	2:28.16
5 河津 賢人 熊本 九州学院	2:28.27
6 伊東 泰輝 大分 別府商業	2:29.44

女子 500m タイムトライアル	
1 蜂須賀杏南 鹿児島 南大隅	40:63
2 出口 倫子 長崎 五島高	42:53
3 中井 彩子 宮崎 日向	42:99
女子スプリント	
1 蜂須賀杏南 鹿児島 南大隅	
2 山口 優衣 佐賀 龍谷	
3 中井 彩子 宮崎 日向	
女子 2km 個人追抜競走	
1 蜂須賀杏南 鹿児島 南大隅	2:59.48
2 出口倫子 長崎 五島高	3:05.78
3 山口 優衣 佐賀 龍谷	3:08.07
女子ロードレース	
1 蜂須賀杏南 鹿児島 南大隅	1:11.24
2 出口 倫子 長崎 五島高	1:11.31
3 西牟田 啓 福岡 福岡県車連	1:14.38
総合成績	
1 福岡	108p
2 大分	103p
3 熊本	39p

連盟の動き (3月~4月中旬)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 4月 2日 U23 ネイションズカップ日本代表選手団出発 | 於:ベルギー・フランス・オランダ 帰国→22日 |
| 6日 女子ツアー・オブ・タイランド 2013 日本代表選手団出発 | 於:タイ 帰国→12日 |
| 10日 平成 25 年度第 1 回常務理事会 | 於:東京・日本自転車会館 3 号館 4 階 |
| 15日 平成 25 年度第 1 回選手強化本部会 | 於:東京・日本自転車会館 3 号館 4 階 |
| 16日 ジュニアネイションズカップ日本代表選手団出発 | 於:クロアチア 帰国→23日 |
| 17日 平成 25 年第 1 回広報部会 | 於:東京・日本自転車会館 3 号館 4 階 |



無限の夢へ、走りだそう。

RING!RING!
プロジェクト

競輪の補助事業

2013 Trial National Championships



ジュニアのチャンピオン飯沼



< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.200 2013年4・5月号

発行/公益財団法人日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/塚本 芳大

編集事務局/公益財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>



この資料および〇〇の表示がある事業は、JKAから競輪収益の一部である公益事業資金の補助を受けたものです。
© (公財)日本自転車競技連盟 2013 本紙掲載の写真、イラスト、ロゴマーク、ロゴタイプおよび記事の無断転載を禁じます。
※本誌「シクリスムエコー」定期購読をご希望の方は編集事務局までお問合せください。

＝シクリスムエコー読者のみなさまへ＝ 本誌についてのご意見、ご感想、ご要望等を編集事務局までお寄せください。